

田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)及び庄内中高一貫校(仮称)に係る
保護者等説明会【鶴岡市会場】記録(要旨)

- 1 日 時 令和元年7月1日(月) 午後7時から午後8時30分
- 2 場 所 鶴岡市第三学区コミュニティセンター(鶴岡市泉町5-30)
- 3 出席者 地域の方々 111名
県教委 須貝教育次長、生島高校改革推進室長、伊藤高校改革推進室長補佐
奥山高校改革主査、丹野高校改革主査、安達高校改革主査
- 4 内 容 生島室長から説明後、質疑応答

5 質疑応答概要

(質問・意見)

東桜学館中学校の入学者選抜について、入学者選抜基本方針にある「課題を理解し、根拠に基づいて論理的に考え、適切に判断する能力、課題に対する自分の考えを表現する能力など、小学校の教育において身につけた総合的な力」とは文部科学省が言う学力の三要素であり、学力を問うものではないのか。適性検査が学力検査にならないようにしてほしい。可能であれば、適性検査を行わず、作文、面接、グループワークなどをみて、児童の人間性をみて選抜する方法もあるのではないかと。

(県教委)

学力検査を行わないとする趣旨は、私立の中高一貫教育校のような難解な知識を問う検査の対策として、塾に行きトレーニングをして膨大な知識を詰め込むといった当時の状況を踏まえて、受験競争の過熱化につながる学力検査はしないということであったと認識している。

東桜学館中学校の入学者選抜の場合には、面接、作文、調査書、適性検査の結果により、総合的に選抜している。また、適性検査は小学校学習指導要領の範囲を逸脱しないような問題としており、事前説明会においても日頃の小学校の学習にしっかり取り組むことで対応できる旨を説明している。入学者選抜の在り方については、御意見として頂戴する。

(質問・意見)

学力検査と適性検査の違いについて、説明してほしい。

(県教委)

学力検査を行わないとする趣旨は、知識を重視した学力を評価する検査はしないというものである。適性検査については、本県で進めている探究型学習などによって培われる、様々な知識・技能の活用した思考力・判断力・表現力などが総合的に評価できるような内容としている。

(質問・意見)

庄内中高一貫校（仮称）の開校時の中学校及び高校の2・3年生の状況について教えてほしい。また、開校年度はいつ決まるのか、そしてできるだけ早く開校してほしい。

(県教委)

開校時には、中学校は1年生のみの在籍となり、2・3年生はいない。高校は、1年生は高校入選を経て入学することになり、2・3年生は、鶴岡南高校及び鶴岡北高校に在籍していた生徒が統合して、併設型高校の2・3年生となる。

開校年度は、カリキュラム作成といったソフト面、校舎整備といったハード面を精査し、決定することになる。高校が2校の統合であること、授業を行いながらの校舎の改修工事となると予想されることなど東桜学館中学校・高校の開校以上に時間がかかる要素もある一方で、東桜学館中学校・高校の開校準備のノウハウを活用することにより時間短縮を図れる側面もある。来年7月に教育基本計画が策定される予定であるが、開校年度は関心が高いこともあり、発表できる段階になれば、随時発表していきたいと考えている。

(質問・意見)

選抜方法について、ボランティア活動等は評価されないとの理解でよいか。

(県教委)

小学校からの調査書には、特別活動を記載する欄があり、記載された内容は、入学者選抜において加味されていく。

(質問・意見)

高校1年生の学習について、併設型中学校から入学する生徒は高校の学習内容の先取りをしており、高校から入学する生徒と進度差が生じるが、そのことについて配慮はあるか。

(県教委)

東桜学館高校の場合は、高校1年生はホームルームを別にし、高校2・3年生は混合クラスとなる。ただし、先取りをしている数学については、高校2・3年生においても、進度別に分けて、少人数で授業を行うこととしている。庄内中高一貫校（仮称）については、様々な事例を踏まえて検討していく。

(質問・意見)

鶴岡南高校山添校、鶴岡工業高校夜間定時制でこれまで培われてきたことを整理し、特別支援教育の充実のために役立ててほしい。また、通級による指導のできる学校、特別支援ができる学校を作り、鶴岡・田川地区を高校における特別支援教育の推進地区にできないか。

(県教委)

特定の高校だけが特別支援教育を担っているわけではなく、あらゆる高校でそのような生徒を受け入れ、支援をしている。また、鶴岡南高校山添校は、文部科学省の「特別支援教育

総合推進事業」の研究指定を受けるなど、特別支援教育にも力を入れ、実績を上げている。この取組みについては、他の高校にも紹介している。さらに、鶴岡南高校山添校で勤務し、ノウハウを身に付けた教員が異動先での勤務校で普及に努めるなどしながら、今後もすべての教員のスキルアップにもつなげていく。

庄内総合高校については、特別支援を必要とする生徒への対応を考えた場合に、夜間の通学の負担を軽減できることや、校外での体験的な活動を取り入れることができることなど、教育の幅を広げることが期待できるなどの理由により、昼間定時制としたところである。いただいた御意見は、今後の参考にさせていただく。

通級の制度は高校でも可能となり、新庄北高校最上校及び霞城学園高校において通級による指導ができるようになった。今後の展開としては、全県的な視野でしっかり検討していく。

(質問・意見)

少子化ではあるものの、特別支援を必要とする子どもは増えている状況にあり、鶴岡南高校山添校を無くすのはおかしい。どの高校においても、特別支援を必要とする子どもを受け入れる枠を設けてもらえるのか。鶴岡南高校山添校を出た先生が、今後長期間、各校において特別支援教育の中心としての役割を担っていくのか。特別支援を必要とする子どもを全日制の高校に入れていただきたい。特別支援のことを真剣に考えて、どの子ども達であっても、3年後に社会人として巣立っていくことができるようにしてほしい。

(県教委)

特別支援の子どもの受け入れについては、特別な支援を要することで不合格とすることはなく、高校入選において公平公正に選抜している。入学後に課題を抱えている部分については、工夫しながら丁寧に指導して卒業を目指している。このように、特別支援を必要とする子どもであっても、公平公正に選抜して、どの学校でも入る機会があり、そういった子ども達に精一杯応えようとしている。今後もすべての学校において、そのようにしっかり受け入れていきたいと考えている。なお、高校入選において1倍を超えていない高校では、全ての特別支援を必要とする子どもではないが、合格している実態があると思われる。

(質問・意見)

県立中学校が一つ増え、周辺の中学校在これまで通り機能していくのか、生徒の活動がしっかり行われていくのか、考えや見通しがあれば教えてほしい。

東桜学館中学校の場合には、周辺の中学校への影響が限定的と言っているが、庄内地区の場合は5市町しかなく、本当に影響がないのか。また、県立中学校の入学者は、地区全体で見ると1割にも満たない一部の人しか入れない特別の学校となり、他の中学校への影響等問題はないのか。県立中学校の倍率は高倍率で魅力があると思われるが、今年の東桜学館高校の倍率は0.71倍であり、様々な問題があるのではないかと。

(県教委)

影響がないとは断言できないが、東桜学館中学校の入学者を見ると、20の市町からの入学者がおり、広く分散している状況にある。中学校の影響としては、生徒が減ったことによる影響を指摘する一方で、小学校でリーダー的存在だった子どもが抜け、その他の子どもが活躍するチャンスが増えたと前向きにとらえ、リーダーの育成に今まで以上に力を入れるようになるなど、学校経営を見直す好機ととらえ、意欲的に取り組んでいるとの回答もあった。庄内中高一貫校（仮称）の定員については、地元鶴岡市及び庄内地区全体の子どもの数の現状及び将来見通しを踏まえて、中学校への影響を考慮しながら、適切に定めていきたい。

東桜学館高校の倍率については、地区の生徒数が大幅に落ち込んだことなど、様々な要因があるのだろうと思われる。

(質問・意見)

特別支援について、鶴岡南高校山添校をなくしてから受け皿を検討するのではなく、つないでいけるようにしてほしい。また、教職員の負担とならないようシステム作りに努力してほしい。

(県教委)

御意見として受け止めていきたい。

(質問・意見)

富裕者層ばかりが集まるような学校とならないよう入学者選抜の手立てを考えてほしい。例えば、子どもの貧困に対応する入学の特別枠を設けたり、学習支援を要する子どものための入学枠を設けたりするなど一歩踏み込んだものとしてほしい。

(県教委)

御意見として受け止めていきたい。併設型中学校の入学者選抜については、普段の学校の学習で十分対応できる内容であり、東桜学館中学校・高校の開校前、どのようなことを頑張らせればよいかという質問に対しては、例えば、「授業にしっかり取り組むこと」「学校生活や家庭での生活、地域の行事などに積極的に取り組むこと」「読書に親しむこと」「疑問に思ったら、辞書や地図などで調べてみること」「会話を大切にすること」「家での手伝いなど、いろいろな体験をさせること」などと回答してきたところで、特別な手立ては必要ない。

鶴岡南高校、鶴岡北高校の統合については、両校の120年を超える伝統を重く受け止め、これまで両校が培ってきた教育の理念や考え方を受け継ぎ、新しい学校として、他にはない庄内らしい学校を作っていきたいと考えている。

以上